

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 リース方式による公共施設へのLED照明の導入について (30分)</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、エネルギー施策の大きな転換が課題となり、それはまた電力分野だけの問題ではなく、社会全体で考えなければならないテーマとなっています。ひっ迫する電力事情を背景に、省エネ対策として公共施設へのLED照明の導入は積極的に検討すべき課題といえます。またLED照明の導入は、電気料金値上げによる財政負担の軽減を図ることにもつながります。</p> <p>しかし、LED照明への「切り替え」となると、照明器具が高価なため、予算確保に時間がかかることが予想されます。また、導入できても、初期費用は重い負担とならざるをえません。ひっ迫する電力事情と省エネ対策を推進するために、こうした事態を打開したいところです。</p> <p>その一つの手法として、民間資金を活用したリース方式によって公共施設へのLED照明導入を進める動きがあります。リース方式を活用することによって新たな予算措置をすることなく、電気料金の節減相当分でリース料金を賄うことを可能とするものです。</p> <p>例えば千葉県茂原市では、20W形蛍光灯の防犯灯7,450灯すべてをLED防犯灯にし、昨年7月末から9月末ですべて終了しました。事業の方式は10年間のリース方式とし、設置後はリース業者から茂原市が賃借するもので、10年間のリース料は税込み合計1億3235万6000円で1灯当たり、17,766円です。メリットは、電気料金が1灯当たり月100円程度削減できること。故障しにくく長寿命であること。年間2千件程あった修繕依頼にかかる労力を削減できることなど限られた資源の有効活用ができます。</p> <p>ちなみに茂原市では平成23年度の防犯灯の電気料金は2,194万円、球切れなどの年間修繕依頼が約2千件あり修繕料は1,188万円ですが、リースにすると当然これより安くなります。また、職員の業者への修繕依頼などに年間100時間ほど作業時間がかかっていましたが、これも極端に少なくなりました。</p> <p>安心・安全の明るい街へ、本市もリース方式による公共施設へのLED照明の導入推進を進めるべきではないでしょうか、基本的な考え方と、以下今後の対策について伺います。</p> <p>(1) LED防犯灯へ切り替えるための課題について</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>(2) 学校、公民館、図書館等への導入について</p> <p>(3) 今後の具体的な取組について</p>	